

今日のトピック 世界の「投信マネー」(2018年5月) 2018年4月は米国債券ファンドに回帰

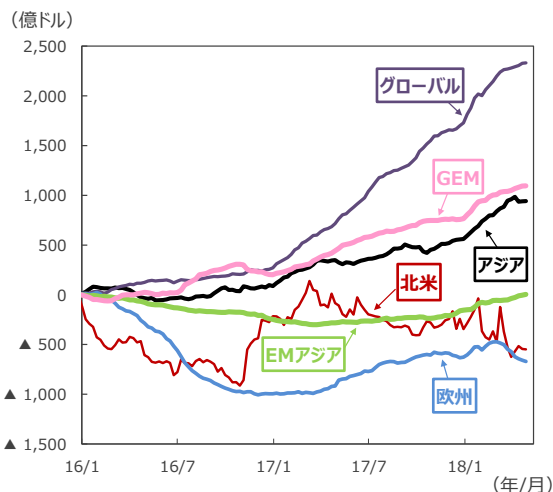
株式ファンドは「中国」を中心に「新興国」へ流入

- 4月の株式ファンドフローは、全体で+30億ドルと3月の+100億ドルより流入超過額が減少しました。新興国が+119億ドル(3月+59億ドル)と増加したものの、先進国が▲89億ドル(同+41億ドル)と流出超に転じたためです。
- 新興国の内訳を見ると、新興国全体に投資する「GEM^(注3)」が+56億ドル(前月+37億ドル)と増加したことに加え、「EMアジア^(注4)」が+55億ドル(同+8億ドル)と増加しました。「EMアジア」では「中国」が+37億ドル(同+10億ドル)と流入超過額の大半を占めました。
- 先進国の内訳を見ると「欧州」が▲122億ドルで2カ月連続、「北米」が▲24億ドルで3カ月連続で流出超となりました。「アジア^(注5)」も▲5億ドルと、6カ月ぶりの流出超です。「グローバル」が辛うじて+61億ドルの流入超でした。

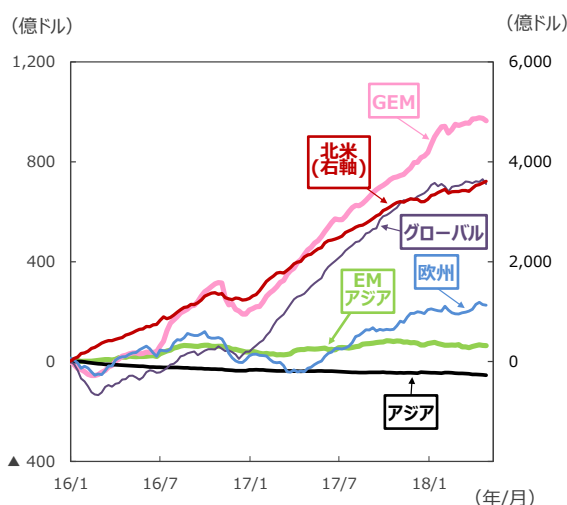
債券ファンドは先進国中心に流入超過額が拡大

- 債券ファンドは+222億ドルと3月の+21億ドルより流入超過額が再び増加しました。内訳は先進国が+207億ドル、新興国が+14億ドルでした。先進国は、「北米」が+197億ドル(3月+4億ドル)と流入超過額が拡大しました。同じ先進国でも「欧州」等への資金流入は伸びていません。米長期金利は先進国の中では相対的に高金利であり、引き続き魅力的な投資対象となっていると思われます。
- 一方、「新興国」は「GEM」への資金流入が鈍化してきています。こうした中、「EMアジア」が+8億ドル(同▲10億ドル)と、金額はわずかながら6カ月ぶりに流入超へ転じました。

【主要地域別株式ファンドの資金フロー】



【主要地域別債券ファンドの資金フロー】



- (注1) EPFRグローバル：米国に本社を置く金融商品の調査会社。2018年3月末現在32.2兆ドル規模の世界のファンドの資金フローデータを持つ。
 (注2) データは2016年1月～2018年4月。週次ベース。2016年1月からの累計。
 (注3) 「GEM」はGlobal Emerging Markets(世界の新興国市場全体に投資するファンドの総称)。
 (注4) 「EMアジア(新興アジア)」は中国、インド、韓国、台湾、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、パキスタン、バングラデシュ。
 (注5) 「アジア」は日本、豪州、ニュージーランド、香港、シンガポール。
 (出所) EPFRグローバルのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここも
チェック!

2018年5月8日 米国の『イラン制裁』と原油価格の上振れ懸念
2018年5月7日 米国の金融政策は現状維持(2018年5月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。